

特集

1. 地域がん診療病院の指定
2. 副院長就任のご挨拶

地域がん診療病院の指定について

平成27年度よりがんの診療提供体制が見直しされ、緩和ケア・相談支援および地域連携等の基本的がん診療を確保した「地域がん診療病院」が新設されることになりました。当院もその指定を受けて、山口県のがん診療連携拠点病院である山口大学医学部附属病院と連携をとり長門医療圏のがん医療の向上に努めていきます。

今回は地域がん診療病院としての当院の3つの取り組みについて説明します。



1. 集学的治療等の提供体制及び標準的治療等の提供

がんの治療には手術療法、放射線療法、化学療法などの方法があります。これらの治療について、患者さんの状態に応じた適切な治療が提供できるような体制を整備していきます。また、がんの治療に関わる職員は山口大学医学部附属病院と連携をとり、定期的に研修などにも参加しています。

2. 緩和ケアの提供

毎週水曜日に予約制で緩和ケア内科外来、精神科医小野先生の診察を行っています。緩和ケアチームも組織されており、緩和ケアチーム担当の医師や、専門の看護師、薬剤師が依頼を受けて患者さんのところへ訪室し、診察や相談にのっています。緩和ケア内科の診察や、緩和ケアチームの活動について詳しく知りたい方は地域医療福祉連携室内にあるがん相談支援センターへ声をかけてください。

3. セカンドオピニオンの提供

がん診療におけるセカンドオピニオンについて受け入れております。セカンドオピニオンは他の医療機関の診療内容について、第三者の立場でご相談をお受けする外来です。各種がんの専門の医師が対応いたします。

地域の歯科医院との連携をはじめました

当院では山口県歯科医師会と協定を結び（県内3番目）、がんと診断されて、手術、化学療法、放射線療法を予定されている方へ「がん医療連携歯科医院」を紹介いたします。口の中が汚れていますと、口内炎や術後に肺炎になる可能性が高くなります。みなさんが安心して治療が受けられるように医師をはじめ、多職種でサポートしていきたいと思っておりますので、お困りのことがありましたら病院スタッフに声をかけてください。がん診療については長門総合病院のホームページでも紹介していますので、ぜひ一度ご覧になってください。

長門総合病院 看護師・薬剤師募集のお知らせ

【応募資格】

看護師：平成28年3月 看護師養成学校卒業見込みの者。または、看護師免許既得者

薬剤師：平成28年3月 薬剤師免許取得見込みの者。または、薬剤師免許既得者

【採用試験日】

看護師：平成27年7月30日（木） 薬剤師：平成27年6月18日（木）

【申込期日】

看護師：平成27年7月23日（木）必着 薬剤師：平成27年6月4日（木）必着

※詳細につきましては長門総合病院ホームページでご確認ください。



第41回 長門総合病院 健康講座 食事で健康管理。おいしく食べられる一工夫 ～腎臓に優しい食事～

慢性腎臓病は成人の8人に1人が該当しており、新たな国民病といわれています。

「肝腎かなめ」といわれるように腎臓はとても大切な役割を果たしています。腎臓病の進行度によって食事内容も変わりますが、腎臓病を悪化させないために毎日の食事で気を付けるポイントと一緒に学びましょう。

日時：6月23日（火）13：30～15：00（13：00より受付）

場所：長門総合病院（大会議室） 参加費：無料

講師：長門総合病院 栄養科 管理栄養士 榊田 真由美



【内容】

- ☆季節の食材を使用したレシピの紹介
- ☆簡単にできる調理の工夫や注意点 など

【予約及び問い合わせ先】

長門総合病院 地域医療福祉連携室
直通電話

0837-22-2518

今が旬 おすすめ料理 ～グリーンピースのくずもち～

栄養科長 榊田 真由美



水を張った田んぼの上を吹き抜ける風が湿気を帯びてきました。ツバメたちは盛んに飛び回り、子育てに余念がないようです。うっとうしい梅雨がやってきます。食べ物の衛生管理に十分注意したいものです。

みなさん6月16日が「和菓子の日」だということをご存知ですか？平安中期に疫病が蔓延した際に、任明天皇が年号を嘉祥と改め、その年の6月16日に16個の菓子や餅を神前に供えて疾病除けと健康招福を願ったということから、全国和菓子協会が6月16日を「和菓子の日」として記念日に制定しています。ということで今回は和菓子、旬のグリーンピースを使ったものを紹介します。

グリーンピースはえんどう豆の未成熟な実で、その栄養価は高くタンパク質、糖質を多く含みます。またβカロチン、ビタミンC、ビタミンB群を多く含みます。枝豆で作るずんだ餡は有名ですが、グリーンピースではもっと簡単に緑色の美しい餡ができます。作るとき注意点は衣で餡を包むとき熱いので手を水でぬらしながら包む点です。この季節ならではの餡で見た目に涼しげなくずもち、ぜひ作ってみてください。

《くずもち》

材料（8個分）

衣

- ・くず粉 50g
- ・砂糖 100g
- ・水 230cc

餡

- ・グリーンピース 200g
- ・塩 少々
- ・砂糖 100g

作り方

- ① グリーンピースは十分柔らかくなるまで色よく塩ゆでする。熱いうちに裏ごしする。
- ② ①と砂糖を鍋に入れて弱火にかけ、焦げないように注意しながらつやが出るまで練る。粗熱が取れたら8個に分け丸めておく。
- ③ 衣の材料を混ぜ合わせ網でこす。
- ④ ③を鍋に入れて中火にかけ、底から混ぜながら練る。全体がまんべんなくねっとりすれば火からおろす。
- ⑤ 手に十分水をつけ④の衣で②の餡を包む。
- ⑥ 蒸し器で15分蒸す。

副院長就任のご挨拶



副院長兼外科部長
久我 貴之

この度、長門総合病院副院長兼外科部長に就任いたしました久我貴之でございます。当院には昭和63年8月から平成2年7月まで外科医として赴任し、その後山口大学病院、山陽小野田市民病院（旧：小野田市立病院）、山口労災病院で勤務し、

平成15年8月より外科部長として再度赴任し、ちょうど今年で医師になって30年目になります。身に余る重責ですが、誠心誠意全力を尽くして参りたいと思います。

日本は少子高齢化社会を迎え、長門市医療圏では一層の高齢化が進んでいます。これまでの30年間の医師研修で学び、現在外科医、感染症、総合診療医、抗がん剤治療医、内視鏡手術医等の専門医・指導医の資格を得ました。これまで以上に病院におきましては多岐にわたる外科手術、がん治療などの実施、後輩外科医の指導等を行っていきたくと考えております。

これからも病院での仕事を通して、地域住民の健康増進、病気の治療等を行い、地域から信頼される病院作りに貢献したいと考えております。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



副院長兼放射線科部長
須田 博喜

平成27年1月付けで長門総合病院副院長を拝命いたしました。

早いもので、昭和60年に大学を卒業して30年が経とうとしています。30年前には「少子高齢化問題」はある程度予測されていたかもしれませんが、「地方の医師不足問題」はまったく予測されていませんでした。現在、この地域ではいずれも深刻な問題となっています。長門市における高齢者比率が多いのは事実です。しかしながら、70歳を過ぎてても元気で仕事をされ、趣味を楽しんでおられる方々が他の地域より多いと感じています。今後も職員全員で、皆さんの健康寿命の延伸に貢献できるように努めていきたいと思っています。

「地方の医師不足」はすぐに解決する問題ではありません。幸いこの地域では、医師会の先生方が中心となって「地域医療ネットワーク」が構築されています。専門医が不足しているこの地域では、このネットワークも利用する事で各診療所や2次救急病院が「一つの病院」のように機能していければ、医師不足問題に対する解決につながると思います。

「地方の医師不足」はすぐに解決する問題ではありません。幸いこの地域では、医師会の先生方が中心となって「地域医療ネットワーク」が構築されています。専門医が不足しているこの地域では、このネットワークも利用する事で各診療所や2次救急病院が「一つの病院」のように機能していければ、医師不足問題に対する解決につながると思います。

最近では、医療機器やカルテなどでも「電子化」が進歩して運用面では便利になりました。しかしながら、医療は人と関わる機会の非常に多い分野です。この事を忘れず、院長先生を中心とするすべての職員と協力して、さらに地域の皆様に信頼していただける病院を目指して努力したいと思っています。

今後とも宜しくお願いいたします。



副院長兼整形外科部長
村松 慶一

2015年4月より副院長として赴任してまいりました村松慶一(52)です。私は1963年小倉に生まれ、1987年山口大学を卒業し医師となりました。同年山口大学整形外科教室に入局し、これまで外科医となり約30年が経ちました。これまで、1996年からオーストラリア、メルボルン

大学、1997年からアメリカ、メーヨークリニックに留学して研究を深め、2006年から大学講師、2012年から准教授として診療にあたってきました。

私の診療の専門分野は、1)手の病気、2)手足のしこり、骨軟部腫瘍、3)1mmの血管をつなぐ手術マイクロサージャリー（微小血管外科）の3つです。私たちは毎日手を使って生活していますので、病気になればとても困ります。手は、安静にして治療するという事はできないので、ぜひ症状が出れば早めに私のような手の専門医に相談してください。少ししびれる程度でも、その裏には大きな病気、例えば糖尿病などが隠されていることもあります。

手足や背中に恐ろしい腫瘍ができることがあります。この病気は珍しく世間的にはあまり知られていません。子供の骨には骨肉腫というとても怖いがんができますが、成長による痛みと間違われることもあります。手足や体には痛くないしこりができることがあります。よく脂肪の塊と思われませんが、中には命にかかわる病気もあります。痛みがないので病院の受診が遅れがちになります。しこりが、硬く、5cm以上で、急に大きくなれば迷わず受診してください。

これから本院で患者様から信頼頂けるあたたかい診療ができる様に頑張ります。また、テレビや新聞で病気の啓蒙活動を行いますので、ご支援をお願い申し上げます。良い病院は箱物ではなく人が作るのだ、と信じています。



昨年訪れた、インドタージマハル、マレーシア、スペインバルセロナ

糖尿病フットケア外来のご紹介

フットケア担当

外来看護師 内山直美 山田明美

透析看護師長 福永明美

*開催日時：毎週水曜日 14時～

*対象：糖尿病で通院されている方でフットケア外来をご希望の方

*予約が必要です（内科外来で予約）

*担当看護師(糖尿病フットケア研修終了看護師)がケアを実施します

*保険適応となります

糖尿病フットケア外来とは

皆さんは「糖尿病だと足を切断することになるぞ！！」なんてことを聞いたことはありますか？ 実際には糖尿病だからといって足を切断することはありません。しかし、糖尿病の増加に伴い、足のトラブルが悪化して足壊疽(えそ)を起こし、足の切断に至ることが増えていることは事実です。では、足を切断せずに糖尿病と上手に付き合っていくためにはどうしたらよいのでしょうか？ そのためには、糖尿病の正しい知識を持って、足のトラブルを起こさないように注意していくことが大切です。

糖尿病フットケア外来では、皆様の日頃の血糖コントロールについて、また、足の手入れの方法などお話を聞き、実際に足を見させていただきケアを行いたいと思います。足のトラブルを予防し悪化しないようにするため、自分の足に関心をもっただけだったらと思っています。気軽に声をかけてください。

フットケアの流れ

観察

足の状態を観察する。下図の観察項目に沿って行う。



足浴

足浴液を用意し10～15分間足をつける。



処置

爪切り、タコ・ウオノメ、白癬などの手入れを行う。



発赤、腫脹、疼痛、熱感、化膿などの炎症所見のある場合は、医師へ連絡。

観察項目

深爪をしていないか

皮膚が暗紫色や黒色に変色していないか

趾や足の皮膚が腫れていないか、水疱はないか

白癬、タコ・ウオノメ、靴ずれなどがないか

外傷、ひっかき傷はないか

乾燥したりひび割れていないか

文献1)を参考に作成

食中毒の季節がやってきます！

感染管理認定看護師 藤永 聡

夏季を迎えるこれからの季節は、細菌による食中毒が発生しやすくなります。食中毒の原因となる細菌にはたくさんの種類がありますが、その中でも、発生件数が多かったり、幼児の重症化事例が発生したりして問題となっているのが、「カンピロバクター」と「腸管出血性大腸菌（O-157、O-111 など）」による食中毒です。

カンピロバクターは鶏や牛などの家畜の腸にいる細菌です。生の鶏肉や牛肉に付着していたり、肝臓（レバー）の内部に存在しており、生肉に触れた手やまな板などから、野菜やほかの食品にも菌が付着します。少量でも感染し、菌が体内に入ると2日から7日くらいで、発熱や腹痛、下痢、吐き気などの症状が現れます。



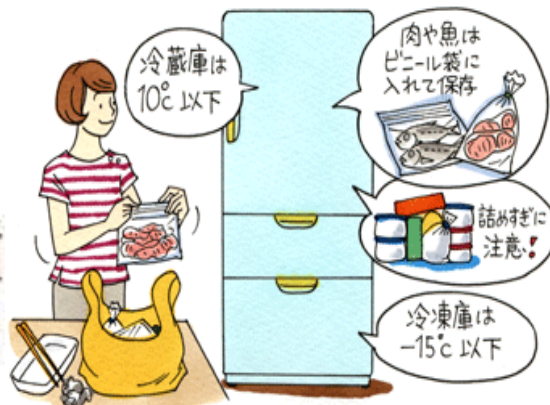
腸管出血性大腸菌（O-157、O-111 など）は、主に牛の腸にいる細菌です。牛の糞尿などを介して牛肉やその他の食品・井戸水等に付着します。腸管出血性大腸菌もカンピロバクターと同様、少量で感染します。菌が付いた食品を食べると、2日から7日くらいで、発熱や激しい腹痛、水溶性の下痢、血便、吐き気、嘔吐（おうと）などの症状が現れます。特に抵抗力の弱い子どもや高齢者は、重い症状になりやすく、合併症を起こして死亡する例もあります。

食中毒予防3原則

「つけない」

「増やさない」

「やっつける」



飲食店だけでなく、家庭でも食中毒は発生しています。食中毒の原因になる細菌やウイルスは、私たちの周りの至るところにあります。食中毒を防ぐ基本は、そうした食中毒の原因となる細菌やウイルスを「付けない」「増やさない」「やっつける」ことです。

6月

全科休診日のご案内

6日(土)	20日(土)
7日(日)	21日(日) 二次救急
13日(土)	27日(土)
14日(日)	28日(日)

臨時休診・代診のご案内

【泌尿器科】

1日(月) 松山医師 学会の為、休診

【内科】

5日(金) 高橋医師 休診

10日(水) 秋山医師 休診

19日(金) 三谷医師 休診

【皮膚科】

12日(金) 松本医師 休診

【産婦人科】

19日(金) 田邊医師 休診

医師の休診については病院HPにも掲載
しています。ご利用下さい。

受付時間終了後の外来受診について

当院の平日診療受付時間は11:00までとなっております。日々、手術や検査が予定されている為、受付時間終了後は診察が出来ないことがありますので、診察を希望される場合は11:00までに受付をお済ませください。また診察が出来ない場合は、後日の受診や他院での受診をお願いすることがありますので、何卒ご理解ください。



耳鼻咽喉科特殊外来のご案内

○補聴器外来

水曜日(14:00~16:00)

第2, 4週…[アリス補聴器センター]

金曜日(14:00~16:00)

第1, 3, 5週…[九州リオン、めがねセンター]

初めて補聴器をつけられる方はまず、通常外来診察時にご相談ください。

小児科特殊外来のご案内

○乳児検診(要予約)

受付 13:00~14:30

実施 13:30~

1ヶ月…月曜日 4ヶ月…火曜日

7ヶ月…第1・第2・第4木曜日

○予防接種(要予約)

曜日…水、金曜日

受付 13:00~14:30

実施 14:00~

BCG、おたふくかぜ、水ぼうそう、日本脳炎、四種混合、麻疹・風疹、肺炎球菌、ヒブ、ロタウイルス

○心臓外来(要予約)

外来日時については小児科までお問い合わせください。

対象…心疾患全般

○発達外来(要予約)

月曜日15:00~16:30

対象…乳幼児の運動発達、低身長に関すること。

○慢性疾患外来(要予約)

火曜日15:00~16:30

金曜日15:00~16:00

対象…喘息、低身長などの内分泌疾患、脳波異常などの神経性疾患、その他腎疾患など

産婦人科特殊外来のご案内

○母乳外来(要予約)

火、金曜日13:30~16:00

内容: 母乳育児相談を行います。

(哺乳量測定、体重測定、乳房トラブルほか)

○母親学級(当院にて出産予定の方のみ)

第3水曜日13:30~16:00

内容: お産の経過と呼吸法、赤ちゃんの扱い方、病棟・分娩室の見学など。

放射線科特殊外来のご案内

○放射線治療外来

第2火曜日 午後

第4火曜日 午後

詳細は放射線科外来までお問い合わせください。

看護外来のご案内

○ストーマケア外来(要予約)

○がん看護外来(要予約)

○リンパ浮腫ケア外来(要予約)

各科外来窓口または地域連携室でお申し込み下さい。